

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	こども支援課担当課長 永野 英樹		
こども-08	重点事業	私立保育所等整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども支援課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保育課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備	

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	私立保育所等を運営する法人	腰越保育園の建替え用地の検討に向け不動産鑑定評価事務を行った
意図	市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い待機児童の解消等を図るため。	
効果	待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	683	当初予算(千円)	1,759	令和2年度より、「拠点保育所(腰越)整備事業」へ継続。
	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	0	その他	0	
	一般財源	683	一般財源	1,759	
	人員配置数	0.0	人員配置数	1.6	
		会計年度任用職員配置数	0.0		
事業経費運営	人件費(千円)	0	人件費(千円)	12,880	
	総事業費(千円)	683	総事業費(千円)	14,639	
	市民1人当りの経費(円)	4	市民1人当りの経費(円)	83	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	見直しの内容 こども支援課部分は、「拠点保育所(腰越)整備事業」へ名称変更し継続事業へ統合	
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 腰越保育園の民設民営による具体的な建替え整備計画が整い次第、その整備手法による手続きに向けて予算規模は拡大する。
	総評(評価に対する考え方、根拠等) 保育施設の老朽化や保育・子育てサービスの充実を図るため、平成30年度に策定した整備方針に基づき、施設整備計画を進めている。 公立保育園の民営化に係る予算については、平成30年度(2018年度)及び平成31年度(2019年度)について、私立保育園整備事業として執行することとしていたが、令和2年度(2020年度)より「拠点保育所(腰越)整備事業」として独立した事業となった。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	腰越保育園隣接土地所有者から、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づく、土地の買収希望の申し出を受け、腰越保育園の移転建替え用地取得に向けた合意形成が必要。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	腰越保育園の建替え用地として、隣接地の買収を希望する申し出者と取得に係る協議を進めていくにあたり、当該用地の購入価格を算定する必要があるため、不動産鑑定評価業務を実施し協議を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成31年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	78人	164人	5人	22人	0人	52人	46人	14人	70人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果として三浦市、茅ヶ崎市で概ね待機児童解消は達成されたものの、いまだ本市における待機児童は多く発生しており、解消に向け本事業の推進が必要となる。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5	3	1	0	30	15			
	実績値	55	50	44	47	93	78			
	達成率	9.1%	6.0%	2.3%	0.0%	32.3%	19.2%			

指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生している。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	2,578	2,499	2,411	2,791	2,825			
	実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535	2,641			
	達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%	93.5%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	保育を必要とするすべての就学前児童の保育を可能とすべく、子どもの受入枠拡大に向けた施設整備等の施策を推進する。
-----------------------	---